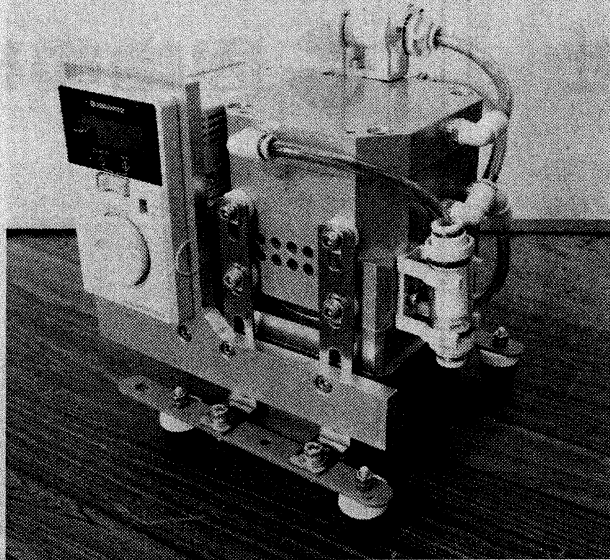


騒音値45デシベル以下に低減

コンプレッサー 坂製作所が小型化

【京都】坂製作所（京都市右京区、坂栄孝社長、075・463・4214）は、図書館内と同レベルとなる騒音値45デシベル以下にした小型コンプレッサー「mote con（モテコン）」を9月に発売する。同社従来機に比べ騒音値を約10デシベル低くした。消費税抜きの予定価格は20万円で、1・3ポンドのタンク付きが29万円。コンプレッサー事業は2・3年以内に売上高1億円規模に引き上げる計画で、精密部品加工に次ぐ柱にする考え。



騒音値45デシベル以下にした小型コンプレッサー

モテコンは空気を圧縮するためのスクロールを独自の方式で回転させる。従来機は2軸だったが、1軸でスクロールを旋回可能な構造にした。1軸にできたことで、ギアボックスが不要になり騒音を低減できたほか、コンプレッサーの小型・軽量化にもつながった。タンクなしの「FC101」はサイズが横170ミリ×縦150ミリ×高さ180ミリ、重さ3・5キログラム。タンク付きの「FC01U-T1・3」は270ミリ×140ミリ×290ミリ、重さ6・5キログラム。吐出圧力は0・5メガパスカル（メガは100万）。

ガは100万）、空気容量は毎分10リットルはどちらも同じ。タンク容量は、ユーザーのエアの使い方に応じて変更する。今後は、吐出圧力0・8メガパスカルのタイプも発売する。

騒音値45デシベルは室内にコンプレッサーを置ける水準であるため、コンプレッサーの新たな用途も開拓する。単体での使用だけでなく、機械などに組み込む装置部品としての供給も模索する。

幅広い

ア
タッピン

【京都】ヤマシナは幅広い素材に適したアルミニウム製タッピン